

年 月 日 ( ) 実習 日目 実習場所 ( ) こども園 担当クラス 組 ( 歳 ~ 歳)		本日の学び (こどもの成長発達を促すために大切だと考えたこと、こどもにとって遊びの意義、こどもの安全を守るために必要なことを整理しましょう)	
<本日の目標>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 ラベルを貼る             </div>	
日 課 観察記録 (食事 排泄 清潔 睡眠 遊び 運動 言葉 情緒 コミュニケーション 家族 など)			
時間	生活行動		
		先生からいただいたアドバイス (学生記入)	
		指導者印	所長印

小児看護学実習記録Ⅱ(1日の実習計画表)

年 月 日(実習 日目の記録) 学生氏名( )

看護診断(病棟立案・学生立案)

本日の自己目標

患児にとっての目標

患児の生活・学生の行動計画	家族の生活	子どもや家族の反応 観察・情報収集したこと 看護師とのケアからの気づき・助言	成長発達を支える視点から、 患児・家族の療養状況をアセスメントする
前日夕			
夜間			
早朝			
8:00			
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			

患児にとっての目標達成、またはインパクトのあった看護場面を焦点化し、SOAPで記録しよう  
 ※A では看護実践の評価、新たな看護診断の視点、患児理解のためにさらに追加が必要と考えた観察、援助の配慮と工夫(看護の方向性)などについても考察しよう

ラベル貼付

Pは、アセスメントした看護の方向性をもとに、次回の受け持ちの機会に実践できるように記録しよう

小児看護学実習記録Ⅲ(受け持ち患児記録)【常在条件・病理条件】

年 月 日 ( ) (実習 日目の記録) 学生氏名( )

日齢・月齢・年齢 出生日時・分娩状況 性別

療養環境(病室・新生児室)

入院目的・疾患 病日 入院時の症状 現在の症状・病期

アレルギー 予防接種 過去の病歴・慢性疾患の有無

発達段階・入院によるライフステージへの影響

治療内容・検査、与薬、検体採取、酸素療法、経管栄養療法、吸入、吸引、処置など

医師の所見・治療上重要としていること、治療、退院等の見通し

成長発達の評価(身体・心理・社会):身体計測・情緒、医療者や学生とのかかわりのようす

基本的ニーズの充足状況と変化・基本的生活習慣の獲得状況と入院による変化  
(食事・栄養 睡眠 排泄 清潔 更衣など)

入院前の生活・すきなあそび、学習、趣味、大切にしているもの

患児を取り巻く社会についてジェノグラム・図で示そう

児や家族の療養の受け止め状況

家族の状況・患児の入院に際しての影響

住まい、地域の特徴



【 外 来 実 習 】

担当看護師：

年 月 日 ( ) 外来実習 ( ) 日目 学籍番号

学生氏名：

本日の目標 AM： PM：	
実 習 計 画	外来実習で出会った子どもとその家族の様子から感じたこと、気づいたこと (来院した理由をとらえ、子どもや家族の発達段階を視点に考えてみよう)
時 間	実習内容・体験したこと
小児科外来における看護の役割について気づいたこと、学んだこと	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 200px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div>	
指導者からのアドバイス (学生が記入する)	指導者サイン

学籍番号

氏名

年 月 日 ( ) 実習 日目 担当クラス：

<本日の目標>

日 課

観 察 記 録 (こどもや家族の様子、反応)

時間

生活行動

学んだこと、気づいたこと

教員  
サイン

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
社会の中で暮らす小児やその家族について理解する	小児の成長発達の特徴を理解し、様々な状況にある児や家族の健康状態を表現している	対象理解 探求心	実習記録 カンファレンス発言 実習状況 面接 ポートフォリオ	小児の成長発達段階や日常の暮らしをふまえ、小児や家族の身体・心理・社会的な健康状態を基礎的知識と関連させて解釈している。  20	小児の成長発達段階や、小児とその家族の健康状態について解釈している。  15	小児の成長発達段階や、健康状態について情報収集している。  10	小児の成長発達や健康状態の特徴を表現している。  5
小児の成長発達を促すための取り組みを実践する	小児の成長発達段階や個別性に応じた援助を考え実践している	対象理解 実践力 調整力	実習記録 カンファレンス発言 実習状況 面接 調整状況 ポートフォリオ	小児やその家族の望ましい姿の実現にむけ、根拠に基づいた援助を実践し、小児の個別性を捉えて、より良い関わりに発展させている。  25	小児の発達段階や健康状態に応じた必要な援助を考え、安全に配慮して実践している。  15	気づきを視点に、対象者に必要な援助を実践している。  10	看護師が行う援助を、指導者と一緒に実践している。  5
小児の権利を護るための行動をする	小児の権利を理解し、倫理観をもって小児やその家族と関わっている	実践力 倫理観	実習記録 カンファレンス発言 日々のラベル プロセスチャート 実習状況 面接 ポートフォリオ	小児の体験していることをありのままに捉え、小児や家族の生活上の信条や価値に注目し、思いや考えを尊重して関わっている。  20	小児の発するサインに気づき、小児の欲求に応じる関わりをしている。  15	小児との関わりを通し、小児の権利擁護の必要性について注目した発言がある。  10	小児の尊重すべき権利について、理解したことを表現している。  5
自己の小児看護観を表現する	小児や家族との関わりを通して自己の小児観を深め地域社会における小児看護の役割を表現している	探求心 倫理観	日々のラベルとプロセスチャート 実習状況 レポート・面接 ポートフォリオ	日々の様々な体験から自己の小児観を深め、地域における小児看護の役割を表現している。  20	実習体験をもとに、小児看護の役割を表現している。  15	日々の実習体験を振り返り、得たことを表現している。  10	自己の体験を表現している。  5
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している。  15	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。  10	社会的規範は守っているが、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る意識が低い。  5	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。  0

欠課時間 ( )時間/90時間
--------------------

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン